

ゆうこ・もりもり・元気・通信

NO. 7 7/6「市民連合@新潟」 共同代表 佐々木寛 (広報・酢山 090-4923-0050)

佐々木寛・共同代表の最後のアピール

「むき出しの国家権力」と「市民連帯=野党統一」の対決に勝利を！



選挙戦も最終コーナーを回りました。1人区の新潟は激戦区であるだけでなく、まさに今回の参院選全体の行方を左右する「天王山」となっています。

自民は異例なまでに連日首相や閣僚を投入し、組織の厳しい締めあげによって勝利しようとしています。一方、私たち市民連合・野党統一候補側は、市民のボランティア

と地域に分散した支部の活動が頼みです。つまり、新潟選挙区は、「むき出しの国家権力」と「市民連帯=野党統一」との全面対決の様相を呈しています。これはさらに言い換えれば、「上からの政治=国家主義」と「下からの政治=民主主義」との対決であるともいえます。

情勢は、まったくの5分と5分の戦いとなっています。おそらく最後の当落の結果は、数万、あるいは数千・数百票の差になると思われます。つまり、有権者一人一人に最後まであきらめずに働きかけた方が勝ちます。皆さんへの最後のお願いは、身近な人で、「結局選挙に行かなかった」という人をゼロにすることです。

それではなぜ、今回の選挙には必ず勝たなければならないのか。それは、「新しい政治」の時代を創りだすためです。安倍政権の「この道しかない」というウソを証明し、何よりも参議院で改憲勢力が3分の2になるのを阻止し、国民が主権者であることを再び明らかにするためです。戦前に時代を戻すか、新しい希望の第一歩を踏み出すか。大きな歴史的な分岐点で、私達には今、考える限りの努力と行動が求められています。

オールにいがた 平和と共生
 ニュース 部内資料
 〒950-0001 新潟県新潟市中央区1丁目1番1号
 TEL 025-242-4782
 FAX 025-242-7103
 http://www.all-niigata.com
 facebook.com/allniigata
 平成28年7月3日(日)

アピール ～政治を変えよう 希望の1票を贈ろうこへ！ 選挙に行こう～

2016年7月2日
 市民連合新潟共同代表 佐々木寛 連合新潟会長 斎藤敏明
 社民党新潟代表 小山芳元 新社会党本部委員長 小林敏昭
 生活の党新潟代表 佐々木寛 日本共産党新潟代表 榎垣士夫
 民進党新潟代表 星岩幸洋 緑の党共同代表 中山 均

安倍首相は7月6日、3回目の新潟入りを予定。大激戦・大接戦の証左です。自民党は連日、複数の閣僚クラスを投入し、地方議員と企業を動かし、組織固めと票の掘り起こしに必死です。安倍政権の「組織戦」と私たちの「野党+市民・無党派との共同」とのたたかいです。

「世論調査」では、「回答者の半数近くが投票先を決めていない」（新潟日報）、無党派層の7～8割は「これから決める」と答えています。勝敗は、まさにこれからのとりくみです。全国の状況を見ると、新潟での勝敗が改選勢力の2/3を阻止できるかどうか直結しています。各野党・団体は組織内を固め、比例代表で揃い合って無党派層に打っていきましょう。その勢いで森ゆうこ候補を押し上げようではありませんか。

安倍改憲を大争点に——森ゆうこ候補と野党への1票で、9条と立憲主義を守ろう！

「新潟日報」は、「憲法改正 最大の争点と闘争したい」（6月26日）との社説をかかげました。安倍首相の逃げを許さず、安倍改憲を大争点に押し上げましょう。「戦争法廃止」「立憲主義の回復」は、私たち野党共闘の大義であり原点です。

投機マネー頼みの「アベノミクス」のために、国民の年金を犠牲にするな！

英国のEU(欧州連合)離脱による日本の株価下落は、世界で突出しています。金融・投機マネー頼みの「アベノミクス」は、年金積立金の約70兆円を株式に投資。株価暴落による損失は、昨年度だけで約3兆円を超えることが明らかになったと報じられています。アメリカでさえ、年金積立の株式運用を行っていません。安倍首相による人災です。「国民の年金を返せ」の声をあげましょう。金融・投機マネー頼みでなく、内需・個人消費の支援で国民の暮らしを安定させ、つよい実体経済をつくらうではありませんか。

消費税増税に頼らない社会保障の財源はある！

年金、介護、医療、子育て・若者支援の充実が切実です。安倍政権の「消費税増税か社会保障の削減か」の悪魔の選択はゴメンです。別の道があります。森ゆうこ候補は、大企業税負担をせめて中小企業などに改革して6兆円、大株主や富裕層に適正な課税で3兆円、合計9兆円の社会保障財源を確保できると訴えています。

「野党+市民」の共同こそ希望——野党共闘攻撃を打ち破り團結の力で勝利を！

野党共闘に追い詰められた安倍政権の最後のあがきは、「野合」攻撃です。「野党+市民との共同」こそ、新しい政治の扉を開く希望です。日本の命運がかかった1週間。私たちの奮闘で、平和で明るい未来を子や孫たちの世代に引き継ごうではありませんか。

以上

参議院選挙の対決軸

憲法9条破壊の「自民・公明とその補完勢力」

VS

戦争法廃止で憲法守る「全野党+市民連合」

森ゆうこへの一票は

「安保法制=戦争法廃止、9条守れの一票」
「アベノミクス・ストップ、暮らし応援で
経済をたてなおす一票」
「TPP、原発、沖縄—国民の声に耳を傾け
ない強権政治を許さない一票」

○「朝日新聞」(2,3日実施)

改憲に前向きな自民、公明、おおさか維新、日本のこころの4党の議席が参院全体で3分の2以上を「占めたほうがよい」は36%、「占めないほうがよい」が41%

○TBS系のJNN(2,3実施)

改憲に賛成する勢力が参院で3分の2以上を占めることに「賛成」は36%、「反対」は45%、そして与野党のどちらかの議席が増えた方がよいかとの問いには「与党側の議席が増えた方がよい」が38%、「野党側の議席が増えた方がよい」が42%。

世論も支持する「野党共闘」「改憲ノ一」

○時事通信(1~3日)

参院選で自民党など4党が改憲発議に必要な3分の2の議席を確保することに「反対」が49.6%、「賛成」が31.5%。このうち公明支持層では「賛成」が38.3%。

○NHK(6/27)今の憲法を改正する必要は「ある」

が26%。「ない」が36%、「どちらとも言えない」が32%。

○毎日新聞(6/24)改憲手続きを進めることに「賛成」が36%、「反対」が45%、「不明」が19%。



内田樹氏が示唆に富んだ「野党共闘実践論」を展開
(武闘家、思想家、神戸女学院大学名誉教授)

哲学者のオルテガ・イ・ガセットは、民主主義とは「敵と共生する、反対者とともに統治する」ための政治制度だと述べています。

立党の経緯も、政治的立場も違う政党が限定的な政策の一致を足場にして一時的な共闘関係を持ちうることは民主主義の最もすぐれた点であり、フランスの人民戦線や中国の国共合作はじめ歴史上にいくつもの事例を挙げることができます。

これを否定する自民党は、はしなくも政治の理想を「全国民があらゆる政策で一致している状態」だと考えていることを露呈させています。それは先の自民党の安保法案に党内から反対者が一人も出なかった事実が明らかにしています。

首相が理想としているのは、国民全員が同じ顔付きで、同じ口ぶりで、同じ政治的信条を機械的に棒読みするような社会なのだと思います。まさにこの選挙での勝利を足がかりにそのような社会をつくらうとしている首相には、野党共闘が許しがたいものに見えるに違いありません。

それは野党共闘が選挙戦で自民党に不利に働くからであるという以上に、「反対者とともに統治する」という民主主義の本道を野党共闘が実践していることに対する不快なのだと思います。(「赤旗」6/27)

森ゆうこ&市民とのトークイベント

山口二郎氏(法政大学教授)SEALDs、佐々木・磯貝代表 参加

8日(金)18:30
万代シティ

7.8(Fri)18:30
BANDAICITYスクランブル交差点
市民と森ゆうこのトークセッション

MORI FES!!

GUEST SPEAKER: SEALDs、山口二郎
投票の前の対話しよう
CHANGE TOGETHER,
VOTE TOGETHER
LET'S CHOOSE
OUR FUTURE

当日の様子をライブ中継!
会場に行けない方はインターネット、スマートフォンからご覧ください。
<http://www.ustream.tv/channel/iwj-niigata1> IWJ新潟で検索!